

Pick up

この本

商事法務 編

『全国法律事務所ガイド 2016』

発行：商事法務 定価：3,300円（税別）

一橋大学教授

山本和彦 Kazuhiko Yamamoto



本書は全国の主要な法律事務所の客観的情報を紹介するガイドブックである。2014年版に次ぐ刊行で、全国219事務所の最新情報を収録している。

本書の特色として、第1に徹底したユーザー視点が挙げられる。主に企業を想定したユーザーが顧問事務所を探す際、具体的事件で依頼する際に必要となる情報に焦点を集中する。たとえば、事務所の得意分野は、ホームページ等では無数に挙げられるが、上位3分野に絞ることで、依頼者としては自己の依頼したい業務で容易に検索できる。

第2に、信頼性・客観性がある。情報自体はインターネット上に無数にあるが、それらが信頼できるものかどうか、ユーザーには不明である。信頼できない情報は存在しないのと同じである。信頼性は何より本書の大きな価値である。

第3に、一覧性・コンパクト性がある。個別事務所のホームページを検索していけば、確かに情報はとれる。しかし、それ自体大変な労力であり、相互の比較にも骨が折れるが、本書は多数の事務所の情報を見開き2頁（一部大規模事務所は4頁）で一覧できる。

第4に、共通項目性がある。各事務所の情報が、企業法務割合、得意分野、理念・特色、設立・沿革、取扱言語、主な顧問先、報酬体系（以上、見開き左頁）、取扱業務、所属弁護士、著作、取扱事件（以上、同右頁）という共通項目に整理されている。事務所ごとに差別はあるが、それもまた事務所の特色を示している（たとえば、著作の欄が詳しい事務所もあれば、具体的事件の紹介に手厚い事務所があるなど）。

第5に、全国性がある。東京・大阪が中心ではあるが、北海道から沖縄まで各地の事務所を紹介している。ただ、いまだすべての地域を網羅してはならず（東北

は仙台だけ、四国は愛媛だけなど）、将来的には少なくとも各地裁本庁所在地を網羅することが期待される。

さらに付録として、修習終了年・期・早見表（所属弁護士は期によって表示されているが、この早見表で実務経験年数を容易に把握できる）、日弁連旧報酬規程の概要（多くの事務所は報酬体系として「旧規程に準じる」としており、ユーザー視点からは旧規程の内容が重要になる）、弁護士の人名・法審期別索引（弁護士名から事務所に逆引きができる）、証券コード別社外役員索引（コーポレートガバナンス上重要性があり、今後ますますこの欄が増大していくであろう）等が掲載されている。

以上のように、本書は貴重な情報を満載したガイドブックとして、ユーザーが法律事務所を選択する際の1次資料としてまさに必携のものである。そのほか、弁護士が他の事務所の状況を把握すること、裁判官が事件の代理人事務所の概要を知ること、司法修習生や法科大学院生が就職先としての事務所を知ることなど多様な用途が想定できる（筆者も、初対面の弁護士から面会依頼があったときは、まずこの本を手取る）。

また、読み物としても面白い。たとえば、企業法務割合につき、東京は圧倒的にA（90%超）であるが、地方はC（50~80%）やD（~50%）が多く、大阪も意外にAは少ないこと、報酬体系につき、顧問料は月額5万円以上で共通するが、タイムチャージ額には相当のバラつきがあることなど興味深い情報が読み取れる。

本書は、さまざまな立場で法律に関係する人々すべてにとって有益な書物であり、手元に置いておく価値は高い。多くの方々の座右に本書が置かれることを期待したい。